



申込
不要

入場
無料

保育
なし

第 3 回

シアター・リーブラ

父と暮せば

8月17日(木)

午後2時~3時50分
(開場▶1時40分)

人類史上初の原爆が投下されてから3年後の広島。図書館に勤める美津江の前に、1人の青年が現れた。その青年に好意を示され、美津江も一目で彼に魅かれていく。しかし、愛する人々を原爆で失い、自分が生き残ったことへの負い目を感じている美津江は、自分の恋心を押さえつけようとしていた。そんなとき、父の竹造(幽霊)が現れる…。(DVDより抜粋)

宮沢りえ・原田芳雄・浅野忠信/2004年/99分

おとったん、ありがとうございました。



© 2004「父と暮せば」パートナーズ



第59回毎日映画賞
監督賞



第47回ブルーリボン賞
主演女優賞



港区立男女平等参画センター リーブラホール
みなとパーク芝浦 1階 定員 208人 車椅子席あり



アクセス

- JR「田町駅」東口(芝浦口)徒歩5分
- 地下鉄浅草線・三田線「三田駅」A6出口 徒歩6分
- ちいばす
 - ・ 芝ルート・芝浦港南ルート (品川駅港南口行)
「みなとパーク芝浦」徒歩0分
 - ・ 芝浦港南ルート(田町駅東口行)
「芝浦一丁目」徒歩4分
- お台場レインボバス「田町駅東口」徒歩7分
- 都営バス(田92・99)「田町駅東口」徒歩6分



マスコットキャラクター
ちいばす



シアター・リーブラは リーブラホールで実施する無料映画上映会です



平成 29 年度 第 3 回 シアター・リーブラ

8月17日(木) 午後 2 時~3 時 50 分 (開場:午後 1 時 40 分)

『父と暮せば』

広島原爆を背景に描く、心温まる父と娘の物語

いかなる悲惨さの中でも変わらぬ人間の尊厳を市井の名もなき父娘に託して、現代日本を代表する作家・井上ひさしが描く傑作戯曲「父と暮せば」の映画化。

広島原爆投下から3年、生き残った後ろめたさから幸せになることを拒否し、苦悩の日々を送る主人公・美津江。父・竹造に励まされ、悲しみを乗り越え、未来に目を向けるまで4日間の物語。原爆のヒロシマの悲劇を描きながらも、広島弁の父娘の会話には心が和む。(配給会社 株パル企画 ホームページより抜粋)

2004 年/原作:井上ひさし「父と暮せば」(新潮社刊)/監督:黒木和雄

© 2004「父と暮せば」パートナーズ/上映時間:99 分

〈文部科学省選定、厚生労働省社会保障審議会特別推薦、日本 PTA 全国協議会推薦など〉

シアター・リーブラ について

ふらっと気軽に
お立ち寄りください!

シアター・リーブラは、みなとパーク芝浦 1 階にある リーブラホールで実施する無料映画上映会です。リーブラの図書資料室で所蔵する作品を公開上映し、映画を通じて男女平等参画推進やジェンダーへの理解を深めていただくために、定期的に関催する企画です。

次回 第 4 回は 10 月 12 日(木) 開催予定!

シアター・リーブラは、偶数月に実施する予定です。上映作品・上映日時は、リーブラのホームページ、メールマガジン「クラブ L」等でご案内いたします。

※ メールマガジン会員募集中! (月 2 回、講座情報等配信・無料)

詳細はホームページ内の [メールマガジン・クラブ L](#) をご覧ください。